WAK WAK

発行
代表理事　岡本 茂
〒569-0814　高槻市富田町2丁目13-8
ハイツ白菊1F
TEL/FAX　072－693－9005
E-mail:jinken@ba.wakwak.com
URL:http://wak2.jimdo.com

ボーダレスアート事業が、市民と行政との協働応援事業に採択されました！

2013年度　高槻市協働プラザ事業として6事業

協働応援事業とは、地域課題の解決や住民サービス向上につながり、市民公益活動団体と市が協働する事で具体的な効果や成果が期待できる事業として昨年度からスタートした事業です。

今年度応援事業について5月に開催された市民公益活動サポートセンター管理運営委員会総会でタウンスペースWAKWAKを含む6事業が採択されました。

協働事業としてボーダレスアート展開催を計画中

採択された事業は「障がいを持つ子どもたちの居場所づくりとボーダレスアート事業の推進」です。

WAKWAKでは市障がい福祉課、子育て支援課と協働でわんだーぼっくす受講生の作品展示を中心とした「ボーダレスアート展」を12月に開催予定で準備をすすめています。

企画運営スタッフも募集中

助成金額は10万円。企画運営スタッフも募集していますので、ご協力いただける方は是非WAKWAKまでご連絡下さい。

「韓中日障がい者国際美術交流展」に中園晋さんの作品出展

昨年秋のビッグアイ（国際障がい者交流センター）アートプロジェクト公募展で入選を果たした中園晋さんの作品が、海を渡り「韓中日障がい者国際美術交流展」に日本側代表作品の一つとして出展されました。

国際美術交流展は韓国ソウル市立美術館で6月14日～19日まで開催され、式典では韓国政府を代表して文化体育観光相も出席してあいさつを述べました。

タウンスペースWAKWAKからは岡本代表理事も訪韓、ともに参加しました。

寄稿

第５パートのある第九、手話のある第九

バリアフリー命輝け

高槻第九コンサート

命輝け高槻第九
コンサートの会

2000年1月に高槻現代劇場大ホールにおいて、ハンディのある人たちと共にベートーヴェンの「歓喜の歌」第九交響曲を歌う「命輝け高槻第九コンサート」を開催しました。

以後、音楽を通して心のバリアフリー、社会のバリアフリーをめざし、高槻市福祉展をはじめ様々な場で、さらに大阪、京都、滋賀、奈良など合唱を通じてできた仲間と共に活動を続けています。

今回、同じ様にハンディのある人たちも演奏に参加している「柏原青少年オーケストラ」と一緒にコンサートを高槻市において開催できますことを嬉しく思います。なお、本コンサートは高槻市福祉展の協力をえて、最後を飾る催しと位置づけられることになりました。ぜひ、お誘い合わせご参加下さい。

命輝け高槻第九コンサートとは

特徴 ①「第５パート」のある第九

大きな特徴は、声を出しにくい人や高齢の方々も歌いやすいように音域を狭くして編曲した「第５パート」があることです。

ソプラノ、アルト、テノール、バスの通常の４声パートに加わる第５番目のパートとして「第５パート」と呼んでいます。

高槻第九の会は月２回（土曜夜）ゆうあいセンターで練習を重ね、第九だけでなくいろんな曲を練習し、福祉展はじめ高校生の冬まつりなど様々なイベントに参加しています。

今回は、第５パートを歌っている宇治のメンバーも参加し60名で歌います。

特徴 ② 手話表現のある第九

もう一つの特徴は「ふれあいサークル手話隊」の手話表現です。

聴覚にハンディある人たちに第九の「歓喜の世界」を伝えようと、手話にリズムを加え、全身の表現で「手話第九」を創っています。

1993年の京都での「命輝け第九コンサート」が初めて、以降「命の第九」さらに高槻第九の会との「バリアフリー第九」でいつも一緒に手話（うた）っています。

日　時：　12月21日（土）　２時開場　２時30分開演
場　所：　高槻現代劇場中ホール

第1部　　アンサンブル　「トライアングル」コンサート
第2部　　バリアフリー 命輝け第九コンサート
　　ベートーヴェン　交響曲第九番二短調「合唱付き」
管弦楽　　柏原青少年オーケストラ
指揮　　小船 進
ソリスト　ソプラノ：田中希美　　アルト：福田かおり　　テノール：日高好一
　　バリトン：田中 勉
合唱指揮　国久昌弘　　合唱指導　　森川朋恵　外谷泰郎
合唱団　　命輝け高槻第九コンサート合唱団
手話表現　ふれあいサークル「手話隊」

主催：命輝け高槻第九コンサートの会、ＮＰＯ法人楽団育成会、柏原青少年オーケストラ
共催：公益財団法人高槻市文化振興事業団
協力：高槻市障害児者団体連絡協議会、高槻市ボランティア・市民活動センター、
　　高槻市事業所連絡会、高槻市コンサート協会、高槻市福祉展実行委員会、
　　ＮＰＯ法人命輝け第九コンサートの会　（京都）
後援：高槻市、高槻市教育委員会、社会福祉法人高槻市社会福祉協議会、
　　一般社団法人タウンスペース WAKWAK

第1部　アンサンブル「トライアングル」

1992年にデビューし、昨年20周年を迎えました。泉州地域での活動を主に続けながら、高槻のギタリスト布施和生さん（第九の会メンバー）との共演も重ね、オリジナル曲も発表。

97年より「みんな一緒のコンサート」として障がいがある人々との表現活動の場を毎年開催し、押尾コータローさんとも共演。2005年にはアルバムもリリースし、今後もコンサートを通してたくさんの人に夢を届け続けていきます。間もなく、100回目のコンサートを迎えます。

コンサートに関するお問い合わせ

高槻市ボランティア・市民活動センター　　072-683-2200
チケット販売（9月中旬から始まります。）　1,000円（全席自由）
販売場所：高槻現代劇場(072－671－9999　10時～17時)
　　高槻市ボランティア・市民活動センター（9時～17時）
　*タウンスペースWAKWAKでも取り扱います。

WAKWAK も出展！　NPO 協働フェスタが開催されます！
日時　１０月１９日（日）　午前１０時～午後３時
場所　生涯学習センター展示ホール
内容　市内ＮＰＯ／市民活動団体の展示発表、ステージ、体験エリア等
　　ふれあいひろば、フリーマーケットも同時開催

WAKWAK の事業報告

さにすぽ夏祭りに出店

７月２７日に知的障がい者通所支援施設であるサニースポットの夏祭りが開催されました。

ＷＡＫＷＡＫでは、わんだーぼっくす受講生のオリジナルデザインによる布バッジや小物等を販売。売上総額は１０，８５０円でした。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

地域福祉グランドデザインづくりへ 新たなまちづくり組織が設立

高槻市の富田富寿栄住宅建替え基本構想策定方針を受けて、富田地域で新たな動きがスタートしました。

ＷＡＫＷＡＫも参画している富田まち・くらしづくりネットワークや周辺自治会も含んだ富寿栄住宅建替え研究会、住宅入居者委員会が新たに設立され、まちづくりの検討が始まりました。

教育ジャーナリスト青木　悦さん 講演会「やさしく生きたい」

1946 年、高知県中村市（現四万十市）生まれ。「朝日・中学生ウイークリー」「ふぇみん(婦人民主新聞)」記者を経て、現在、「いじめ」など子どもたちの状況を取材・執筆するとともに、全国各地で講演活動を行っている。

日時　９月７日(土)　午後２時～4 時
場所　高槻市総合センター14 階 1401 号
(生涯学習センターの上)
―入場無料―
問合先　一般社団法人高槻市人権まちづくり協会　☎072-674-7878

わんだーぼっくす前期が開講

ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」が５月から月２回の土曜日に開講されています。今年度前期は、前年度からの継続者１２名に加え、７名の方が新たに受講申し込みされ１９名でアートを楽しく行っています。

今年度は、受講生の作品を各種公募展に積極的に応募していくことも目標にしています。

１１月から始まる後期申し込みは１０月に予定しています。

決算理事会・総会を開催しました

５月２７日に2013 年度第１回理事会ならびに決算社員総会を開催しました。

総会では、２０１２年度事業報告・決算報告についていずれも承認。初年度収支は、３２５，４１０円とわずかでしたが黒字決算となりました。

追悼　南部裕子理事が逝去しました

タウンスペースWAKWAK 設立発起人で理事の南部裕子（なんぶひろこ）さんが、7月６日にお亡くなりになりました。61 歳でした。

南部さんは長崎県佐世保市で子ども時代を過ごし、立命館大学産業社会学部を卒業。

「ドキュメンタリー映画上映会」、「ピース with アクション」、女性学級「かまどねこの会」等、平和・人権・教育に関する市民運動やＰＴＡ活動等に関わる一方で、1997 年に「たかつきＣＡＰ（現「ＣＡＰみしま・大阪」）を設立。「ＣＡＰみしま・大阪」代表も務めておられました。

吉田拓郎が大好きで、「子どもが暮らしやすいまち」が彼女の夢でした。

ほんの数ヶ月前のWAKWAK理事会や決算社員総会にも元気にお顔を見せてくれていたのですが本当に残念です。

心からお悔やみ申し上げると共に、南部裕子理事の遺志をしっかりと受け継いでいきたいと思います。